

2024(令和6)年10月22日(火) 山梨日日新聞 掲載記事
「10月16日(水) 富士レークホテル 防災研修」

災害発生を想定 外国客対応学ぶ

富士河口湖のホテル

富士河口湖町船津の富士レークホテル(井出泰濟社長)は16日、社員を対象に、災害が発生した際の外国人対応を学ぶ研修会を開いた。

社員約120人が参加。多文化共生マネージャー全国協議会理事の高橋伸行さんが、災害時の課題について、「外国人

旅行者は言語や心理的な壁によって情報を受け取りにくい」と説明した。

グループワークでは、社員が東京湾を震源とする



る地震が発生したとの想定で初期対応を検討。また、「館内でガスが止まっている」といった状況を伝える手書きのポスターを製作し、簡単な日本語や絵を活用した情報の伝え方を考えた。写真。

研修会は、ホテル宿泊者の約半数を外国人旅行者が占めることから企画。井出社長は「観光客が安心して過ごせるように備えていきたい」と話した。

〈武田寛明〉